



【ORION】エンジニア交流会 #3

『kintone頑張ってたなら開発専門部署に転職できたハナシ』

※kintoneのkはサイボウズ様の登録商標により小文字です

— 自己紹介



気取らない性格なのではっしーと呼んでください。

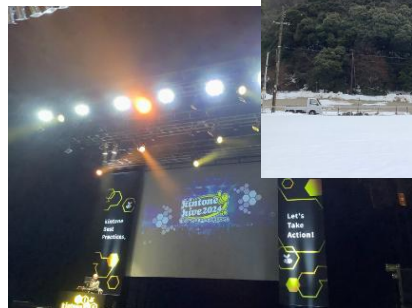
Twitter X : @kintoneTH

出身,住,国籍 : 埼玉県熊谷市出身、東京都某所に住んでる、日本人です。

kintone歴 : 9年目に突入しています

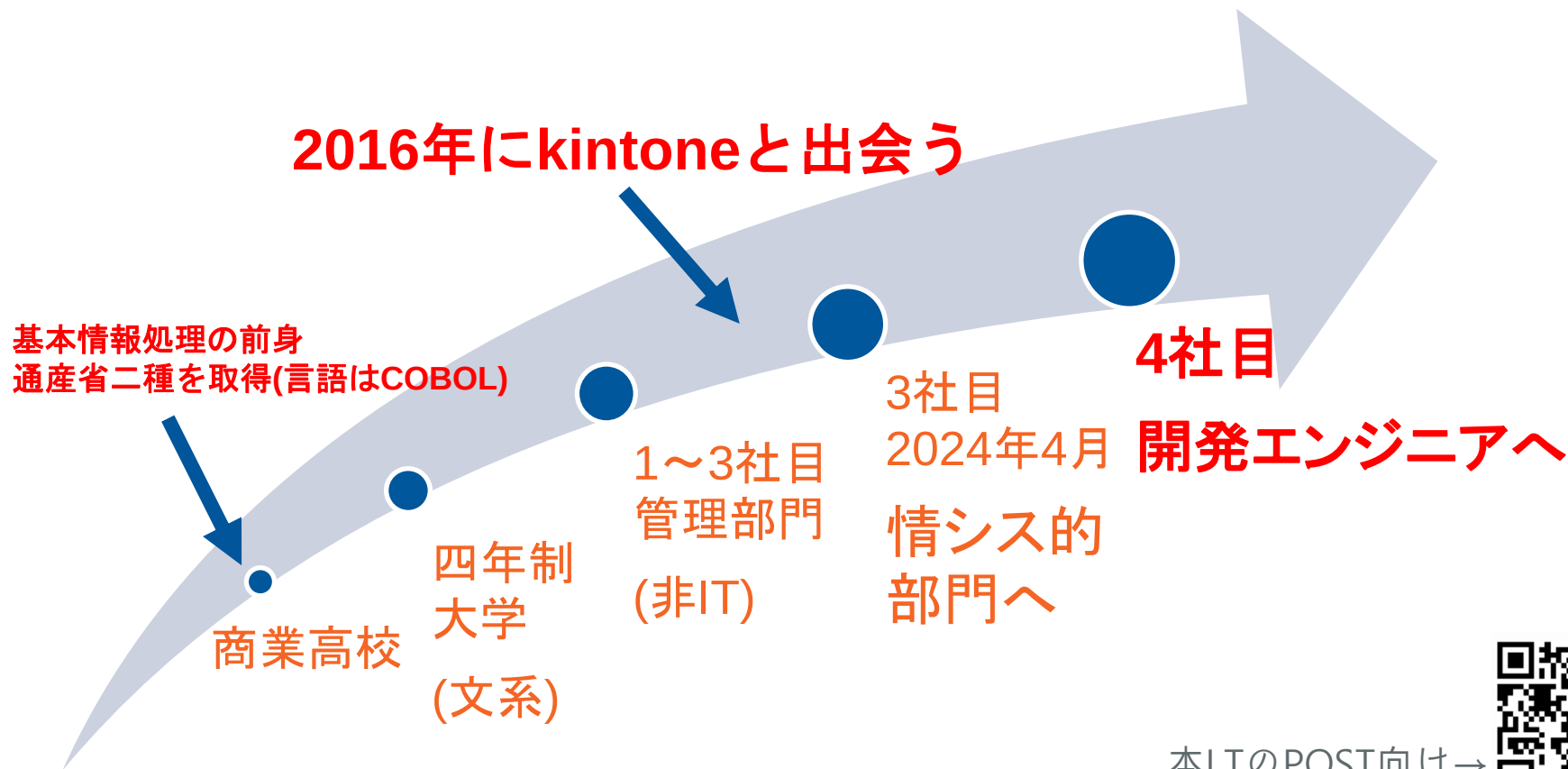
エンジニア歴 : 1年目

趣味 : 旅行中のイベント参加と登壇
スイーツ食べ歩き



プレーリーカード→

キャリアについて



本LTのPOST向け→



どんな風にkintone使うの？

本LTのPOST向け→



実演動画

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	タスクID	タスク名	詳細説明	優先度	担当者	進捗状況	開始日	締切日	完了実績	コメント
2	1	クライアントヒアリング	クライアントのニーズを確認	高	田中	完了	2024/8/1	2024/8/1		
3	2	要件リスト作成	要件の初期リスト作成	高	田中	完了	2024/8/1	2024/8/2		
4	3	要件レビュー	要件リストのレビューと修正	中	鈴木	完了	2024/8/2	2024/8/3		
5	4	要件確定	クライアントの確認と最終要件確定	高	田中	完了	2024/8/3	2024/8/4		
6	5	システム構成検討	基本的なシステム構成を決定	高	中村	完了	2024/8/5	2024/8/6		
7	6	機能要件策定	各機能の要件を詳細化	高	鈴木	完了	2024/8/6	2024/8/7		
8	7	非機能要件策定	セキュリティ、スケーラビリティ要件を策定	中	田中	完了	2024/8/7	2024/8/8		
9	8	技術選定	使用する技術スタックを決定	高	中村	完了	2024/8/8	2024/8/9		
10	9	開発スケジュール策定	開発の詳細なスケジュールを作成	高	鈴木	完了	2024/8/9	2024/8/10		
11	10	設計書初版作成	システム全体の設計書を作成	高	鈴木	進行中	2024/8/11	2024/8/15		
12	11	UI/UXデザイン作成	ユーザーインターフェースの設計	中	佐藤	未着手	2024/8/16	2024/8/20		
13	12	デザインレビュー	UI/UXデザインのレビュー	中	山田	未着手	2024/8/21	2024/8/22		
14	13	デザイン修正	レビューに基づいてデザインを修正	中	佐藤	未着手	2024/8/23	2024/8/24		
			フロントエンドとバックエンドのAPI設計							
Sheet2 Sheet3 +										

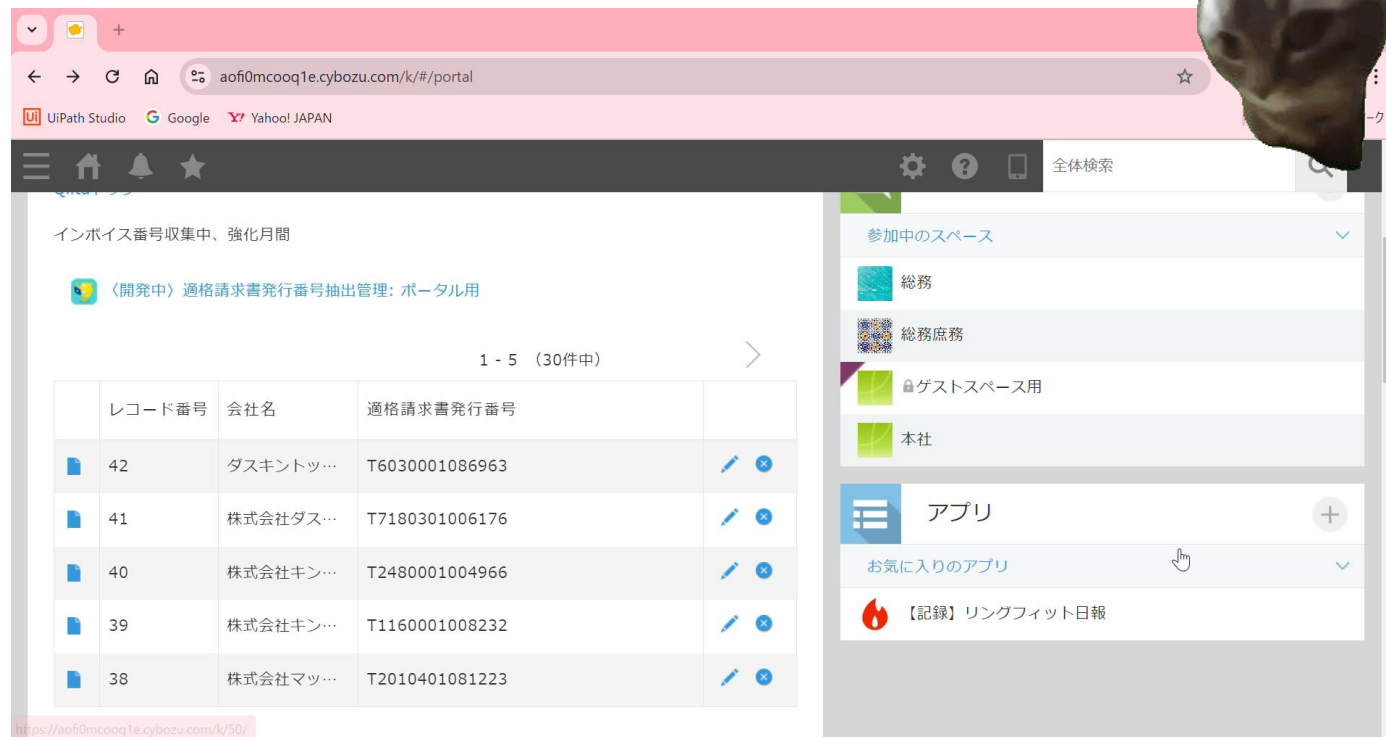


こちらのExcelタスク管理をkintone化してみましょう

※画面の資料は開発環境で疑似再現したもので実際のデータではありません。

実演動画

実際にアプリを作ってみました



The screenshot displays a web application interface. The top navigation bar includes a search icon and the text "全体検索". The main content area is titled "インボイス番号収集、強化月間" and contains a sub-header "〈開発中〉 適格請求書発行番号抽出管理: ポータル用". Below this is a table with 5 columns: "レコード番号", "会社名", "適格請求書発行番号", and two empty columns. The table shows 5 records (1-5 of 30 items). The sidebar on the right lists "参加中のスペース" (Total Office, Total Office Staff, Guest Space, Company) and "アプリ" (Favorite Apps, [Record] Ring Fit Daily Report).

	レコード番号	会社名	適格請求書発行番号		
	42	ダスキントツ...	T6030001086963		
	41	株式会社ダス...	T7180301006176		
	40	株式会社ケン...	T2480001004966		
	39	株式会社ケン...	T1160001008232		
	38	株式会社マツ...	T2010401081223		

※画面の資料は開発環境で疑似再現したもので実際のデータではありません。

本LTのPOST向け→



完成！

爽やかな朝は進捗率グラフから始まる

自動的に更新される未完一覧

タスクID	タスク名	開始日	締切日	詳細説明	コメント(遅延している場合はその理由)	
50	新機能リリース	2024-11-11	2024-11-12	新機能を本番環境にリリース		 
49	新機能テスト	2024-11-06	2024-11-10	新機能の動作確認とテスト		 
48	新機能実装	2024-10-26	2024-11-05	新機能を開発し実装		 
47	新機能設計	2024-10-21	2024-10-25	新機能の設計書を作成		 
46	新機能					 
45	新機能					 

タスクID

50

タスク名

新機能リリース

担当者

山田

優先度

低

進捗状況 *

☒ 完了 ☐ 進行中 ☐ 未着手

開始日

2024-11-11

締切日

2024-11-12

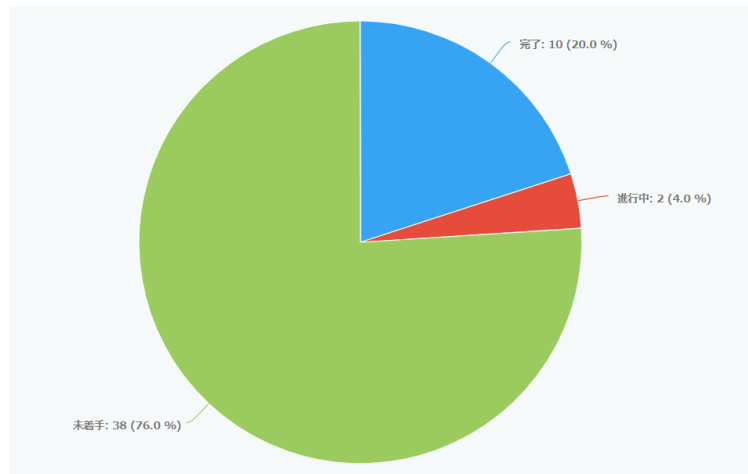
詳細説明

新機能を本番環境にリリース

完了実績

2024-09-14

コメント(遅延している場合はその理由と完了予定日付を記載すること)



キレイな入力欄

本LTのPOST向け→



非IT人材で使うメリットは何？

本LTのPOST向け→



プログラミングしなくてもアプリ開発ができるから

- ・ 自分の業務は自分が一番よくわかってる！
- ・ 社内でシステム構築が完結しやすい
- ・ 自分の想いをアプリに込められる
- ・ スクラッチ開発と比較して、格段にコストが下げられる
- ・ 途中で仕様を変えやすい、変えることが前提の開発



ノーコードって微妙じゃない？

本LTのPOST向け→



いわゆるノーコードは、メリット
と引き換えにした特有の弱点があり
ます。

それが「悪い」って話ではなく、
理解して上手に使いましょう。

本LTのPOST向け→



kintoneに限らず、ノーコードあるある

①意外とできないことが多い

→”コーディングした方が早い”という意見も・・・

②作法を勉強しないといけない

→機能がわかってないと上手く使えない

→一定の学習コストが必要



できない、ということとはできない、ということなんです

【打開策】

- ・ kintoneに合わせた（業務などの）設計をしましょう
- ・ kintoneの機能を勉強することで思わぬ発見があるかも
- ・ あきらめる



「知らなくてもできる」 ではない、ということ

kintoneについて学びましょう！
知らないと正しく使えません。

<https://kintone.cybozu.co.jp/material/#guidebook>

公式で教育用コンテンツがある



もっと使いこなしたい
便利に使おう



複数のデータを1つのレコードに登録するときに、自由に行を追加する方法

PDFをダウンロード



合計金額や時間などを自動計算して、計算結果を表示する方法

PDFをダウンロード



売上情報などアプリに登録された情報からグラフを作成する方法

PDFをダウンロード

JavaScript使えるんじゃないの？

本LTのPOST向け→



やるならカスタマイズは最小限にしましょう

- ・ 前提として「それって本当に必要？」と立ち止まること
- ・ 「慣れ」で解決できるなら「慣れ」てもらいましょう
- ・ それでも避けられないなら、見積もりしましょう
→コーディングと保守単価はバカにならない



どうして**40**過ぎて開発**SE**に転職できたのか？

本LTのPOST向け→



なんで転職できたのかは私が聞きたい

- kintone開発を事業にするとところが増えている
- エンジニアが途中から使うには高い学習コスト
- kintone経験があるエンジニアは少ない
- サイボウズ公式イベントに登壇している



最近システム会社でも
kintone開発増えてる？

本LTのPOST向け→



私なりの仮説

- やはり低コストでシステム構築ができるのが魅力
- 保守避けることが可能（納品先でやってもらう）
- システム開発であることに変わりない
- 最悪、JavaScriptで大概要件満たせる



この波は今後も続くのか？

本LTのPOST向け→



そうは思えず、一過性なのでは？と感じています。

- ・ 非IT部門が自力でアプリ作成することを前提にしている
- ・ 生成AIでフルスクラッチの工数が大きく下がる
- ・ 開発ドキュメント作成コストが見合わない
- ・ ウォーターフォール開発でやってきた方の肌に合わない

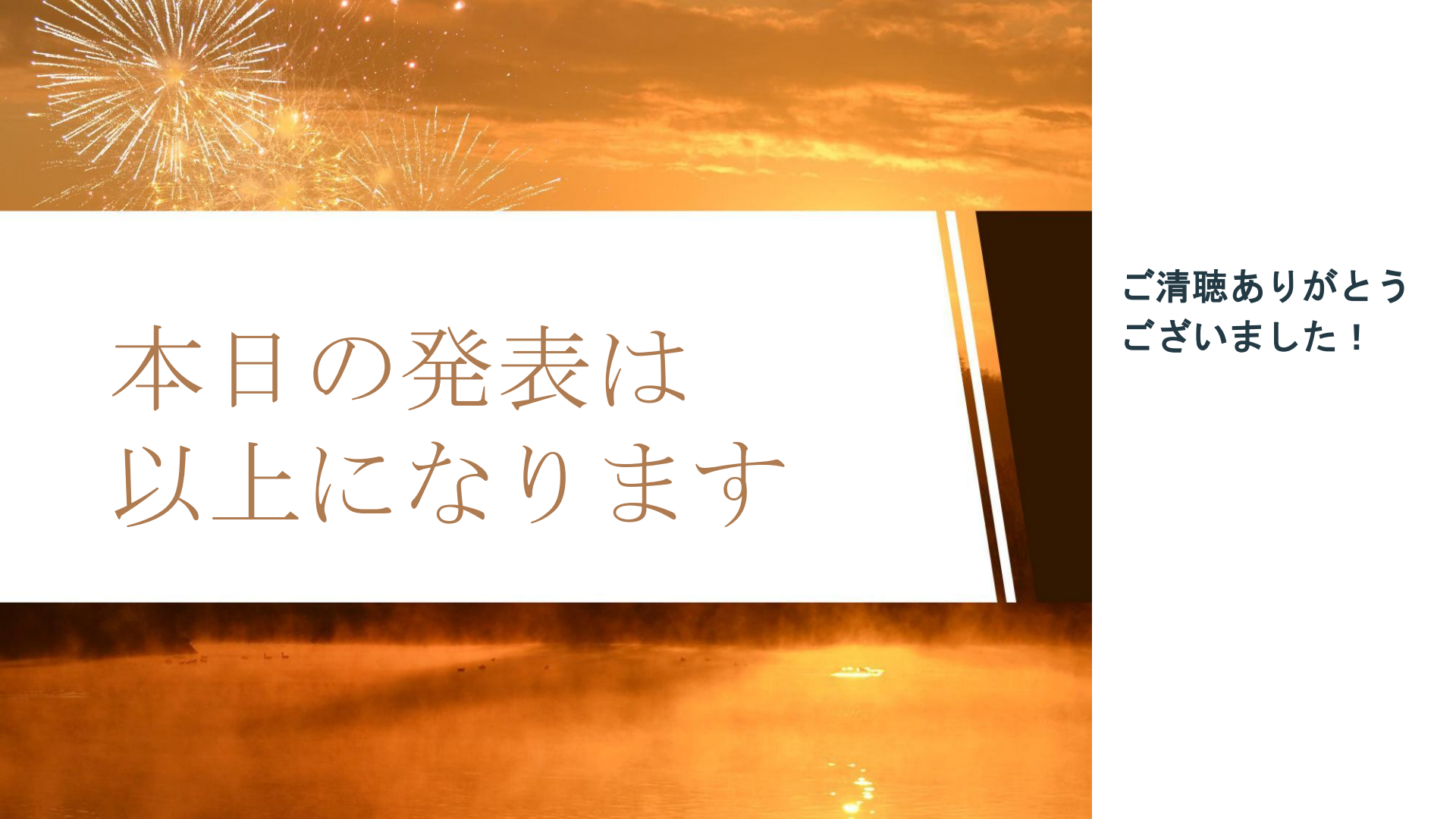


kintoneは本当に良いシステム

日々ユーザー企業が増えて、kintoneでシステム構築することをビジネスとする会社も増えてきています。

ただ、上手く使えなかった時の事例が世間のイメージの一つとなっているのもったいなく感じます。

「kintoneの正しい使い方、そしてkintoneを使うその効果」
これを広げる活動を今後していきたいと考えています。



本日の発表は
以上になります

ご清聴ありがとう
ございました！